

千地申
16号

錦糸町駅「ローカウンター」の業務移管に関する団体交渉を行う！

地本は錦糸町駅のローカウンター（びゅうプラザ）の業務を、株式会社びゅうトラベルサービス（以下VTS）に業務移管する提案を受けました。

旅行業の組合員は、東日本地域への観光流動収入の確保のため、お客さまに寄り添い奮闘してきました。地本は、多くの施策を担ってきた組合員の気持ちに踏まえ、今施策をより良いものにするため、団体交渉を行いました。

■錦糸町駅ローカウンターの業務移管の目的と根拠

- ・VTSは旅行業に専門特化した会社であり、これまでJR本体で行ってきた業務をVTSへ移管することで、更なるサービス品質の向上を図ることができる。
- ・売上や都内の店舗であること、お客さまのご利用状況など、様々な面を考慮した上で、錦糸町駅を選定した。
- ・今施策は、サービス品質の向上のために必要な施策である。サービス品質向上を目的として取り組んでいく。

サービス品質向上のための施策であることを確認！

■VTSプロパー社員への教育について

- ・業務移管後もサービスレベルを維持するため、必要な教育を行っていく。
- ・プロパー社員が移管1ヶ月前から錦糸町駅で実習できるよう、VTSと調整している。
- ・他支社での業務移管施策によって、VTSも教育のノウハウを積み重ねている。

VTSに教育のノウハウは蓄積されている。サービスレベルが低下しないよう教育を行うことを確認！

■VTSへの出向について

- ・プロパー社員への教育を目的に出向が発生する。労働協約に則っていく（組合員の出向期間は原則3年以内など）。
- ・要員の穴埋めの為の出向ではない。出向の際は面談等で十分にコミュニケーションを図り、本人の意思を把握する。
- ・転籍については考えていない。

出向はプロパー社員への教育が目的であると確認！
転籍は無いことを確認！

■施策実施に伴う面談、異動について

- ・VTSの勤務体系等、面談にて明らかにしていく。
- ・育児や通勤等、社員の特情については面談等で把握していく。
- ・異動時期については、教育期間を勘案して7月1日以降となる。

異動に関しては個々の特情を鑑み、コミュニケーションを図っていくことを確認！

■その他

- ・現在は昼間に行っている締切業務を、営業時間終了後に実施できるようにするため、営業時間を10時～19時に変更することを調整している。
- ・年末年始の営業についてはVTSと調整していく。
- ・パンフレット整理や販促物作成等が超勤にならない作業ダイヤを組むよう、VTSとコミュニケーションを図っていく。
- ・バックヤードのレイアウトに関しては、入出金機を新たに設置するが、他には大きな変更はない。
- ・ボイスコールは取替もしくは修繕を検討している。
- ・休憩室やロッカーは現行通りで、コミュニケーションを図ってもらいたい。しかし現金が混同しないような配置にしていく。
- ・施策を担う社員のモチベーションを維持するため、制服や名札、社員証などの丁寧な準備を進めていく。
- ・今後も現場と意見交換を行っていく。

職場から声を上げて働きがいのある 旅行業職場を創り上げよう！